

山梨大学 留学生 センターニュース



留学生交流の さらなる前進のために

留学生センター長 須貝 千里



山梨大学留学生センターが誕生して2年がたちました。

全学で留学生数は160名（18カ国）を越え、留学生センターの三つの基本機能である、学部留学生のための日本語・日本事情教育、留学生に対する就学及び生活上の指導と支援・文化交流、大学院入学前予備教育などが、全面的に始動しています。

留学生のための交流ラウンジとコンピュータ室が旧放送大学施設に開設されるなど少しずつではありますが、施設面の改善も進んでいます。また専任教員2名の補充も後期には実現することになっています。

しかし、本学の国際交流に対する期待に応え、留学生たちの声に耳を傾け、それぞれの部門のさらなる充実をはかっていかなければなりません。教学の体制と内容のみならず、教育・研究環境の充実など取り組まなければならないことがあります。留学生の受け入れと日本人学生の派遣の充実に向けて課題は山積しています。他大学の留学生センターの経験にも学び、一つひとつ解決していきます。

着実な前進の決意を胸に、留学生課及び関連部署との連携を強め、全力でがんばってまいります。引き続き全学のご支援、ご協力をお願いいたします。

センター教員はこんな人



奥村 圭子
第1部門担当



長谷川 千秋
第1部門担当



高田谷 久美子
第3部門担当



留学生センターの仕組みと仕事

留学生センターは、センター長1名、教員5名で構成されています。（4月1日現在で教員2名が欠員です。ただし、9月には2名の専任が補充される予定です。）

センターの仕組みと仕事の内容を紹介します。



第一部門 日本語・日本事情教育

日本語・日本事情

これは、学部留学生を対象とする授業です。日本語・日本事情の授業は、プレイスメントテストによってクラス分けをします。日本語には初中級と中級があり、前後期ともに2コマずつ開講しています。日本事情は前後期ともに1コマずつ開講しています。また日本人学生との混合クラス、異文化間コミュニケーションも前後期ともに1コマずつ開講しています。

日本語補講

これは、本学に在籍する日本語が十分でない外国人留学生、特に大学院予備教育対象者ではない大学院生、研究生を対象とする授業です。甲府地区と玉穂地区で、前後期ともにそれぞれ3コマずつ開講しています。

第二部門 就学及び生活上の指導・支援、文化交流部門

センターでは留学生に対する就学・生活面での指導、助言を行っています。様々な相談に応じるため、留学生課と連携して日常生活で生じる問題の他、保健管理センターと連携して精神面での問題にも対応しています。また留学生に関しての指導教官からの相談にも対応しています。さらに本学の日本人学生に対しては、交流協定校等への短期留学の相談を行っています。

第三部門 大学院入学前予備教育部門

日本語研修コース1（大学院入学前予備教育）

大学院進学を目的とする国費研究留学生のための日本語の教育を行っています。入門レベルからの集中授業を15週間行います。前後期にそれぞれ開講しています。

日本語研修コース2（日韓共同理工系学部学生予備教育）

日韓共同理工系学部学生のための、日本語教育と専門予備教育を行っています。日本語に関しては、初中級レベルの集中授業を15週間行っています。後期に開講しています。

- なお、プレイスメントテストの結果、この部門の対象者ではない外国人留学生が日本語研修コース1，2を受講することができます。その際は留学生センターの許可と指導教官の同意が必要です。ただし、人数には制限があります。

最近の留学生にかかわる諸行事

— 進む国際交流・留学生交流 —

2004年12月以降の留学生交流にかかわる主な行事について報告します。

学長主催の留学生懇親会、開催される

12月15日6時より、貫井英明学長主催の留学生懇親会が学生会館ラウンジで、留学生、教員、県の国際交流関係者などの来賓の方々、150名余の参加で盛大に開催されました。

学長の留学生交流の意義と決意を語る開会挨拶の後、県の関係者を始め、諸団体の挨拶があり、その後懇親の会となりました。

留学生による絶妙の日本語によるスピーチ、出し物などが続き、会は大いに盛り上がり、国際交流・留学生交流を深めるタベとなりました。

今度はみんなで料理の持ち寄りしようとの声が出されていました。



実地見学旅行、友情と交流の2日間

12月18日、19日、留学生のための実地見学旅行が行われました。

東京タワー、浅草観音、フジテレビ、横浜赤レンガ倉庫、鶴岡八幡宮、アサヒビール神奈川工場などを見学し、日本の文化・産業に対する見聞を広め、留学生相互の友情を深めることができました。参加者は42名でした。

日程の都合で参加できなかった留学生からは来年度の実地見学旅行には行きたいとの声が多数寄せられています。



留学生のスピーチコンテスト、赤レンガ館で開催される

3月5日1時30分より、「山梨 大学スピーチコンテスト」が本学赤レンガ館で開催されました。県内4大学、18名の留学生が「私と山梨」というテーマでスピーチをしました。参加者は100名余でした。

どの出場者も準備を重ねた熱弁で、会場に笑いと涙があふれた3時間でした。終了後、大学ラウンジで懇親会と表彰式が行われました。

厳正な審査の結果、1位、仇春燕さん（中国 山梨学院大学大学院）、2位、宋静さん（中国 山梨大学大学院）、李慧敏さん（マレーシア 山梨大学）、3位、黄海芸さん（中国 山梨学院大学）、曾莉芬さん（中国 都留文科大学）という結果になりました。特別賞には、朱志霞さん（中国 山梨大学大学院）、朴鐘寛さん（韓国 山梨大学大学院）、李香俊さん（中国 山梨大学大学院）、万鵬さん（中国 山梨学院短期大学）、韓婷婷さん（中国 山梨英和大学）が選ばれました。

なお、本企画の運営は、本学の荒川恒子教授の指導の下に、教育人間科学部の芸術運営コースの学生があたりました。学生たちの献身的な取り組みの上に、この企画が実現したこともとても素晴らしいことです。こうした取り組みによって、本学の留学生交流の厚みが増していくことと思います。

企画運営した学生からも出場留学生からも来年度の開催が楽しみという声が寄せられています。



日本語研修コース修了生名簿・・・・・・・・・・・・・・・・

○ 前期日本語研修コース修了式は2004年8月2日に行われました。修了生は次の通りです。

CHEN Lee Chuin (マレーシア)、ESMAEL Mohamed Omer (エチオピア)、BLOS Mauricio Fontoura (ブラジル)、WARNER Anthony Carl (アメリカ)、WILKINS Jason Robert (アメリカ)、張冰 (中国)、楊華 (中国)、以上7名。

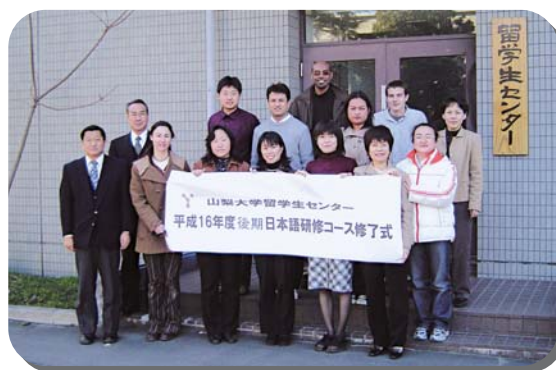
○ 後期日本語研修コース修了式は2005年2月21日に行われました。修了生は次の通りです。

コース1の修了生は次の通りです。

BASTOLA Satish (ネパール)、王国強 (中国)、NUSAI Chutchada (タイ)、以上3名。

コース2の修了生は次の通りです。

李東炯 (韓国)、ESMAEL Mohamed Omer (エチオピア)、BOUCHUT Kevin (フランス)、姚瑤 (中国)、張冰 (中国)、以上5名。



2005年度授業予定(前期)・・・・・・・・・・・・・・・・

日本語関連科目 時間割表

	月	火	水	木	金
I 8:45～ 10:15		日本事情 I (奥村)Y1-4		日本語初級 I B (奥村)Y209	
II 10:30～ 12:00	日本語初級 I A (岡部)Y209 日本語中級 I A (長谷川)K427				
III 13:00～ 14:30					
IV 14:45～ 16:15					
V 16:30～ 18:00		異文化コミュニケーション (奥村)L115 日本語中級 I B (長谷川)K427			

大学院入学前予備教育 時間割表

	月	火	水	木	金
I 8:45～ 10:15					
II 10:30～ 12:00	予備教育 (奥村)	予備教育 (井上)		予備教育 (二宮)	予備教育 (清水)
III 13:00～ 14:30	予備教育 (奥村)	予備教育 (井上)		予備教育 (二宮)	予備教育 (清水)
IV 14:45～ 16:15	予備教育 (奥村)	予備教育 (井上)		予備教育 (二宮)	予備教育 (清水)
V 16:30～ 18:00					

※ 教室は全て J116

4月の予定・・・・・・・・・・・・・・・・

○ 4月5日 10時 留学生ガイダンス (留学生全員参加) Y1-1 教室

1時 プレゼンテーションテスト (日本語関係科目受講希望者全員) Y1-1 教室

○ 4月8日 2時 日本語研修コース (大学院入学前予備教育) 開講式

留学生センター長室 (J116)

○ 4月11日 授業開始

○ 日本語補講 5月連休後に開始、各授業12回。詳しくは4月18日ごろお知らせ(CISに掲示)します。希望者は留学生課に申し込んでください。